

研究課題名	2018-037 Zone5 手指伸筋腱断裂の治療成績
実施責任者	名古屋掖済会病院 リハビリテーション部 作業療法士 加藤雅大
研究の概要	<p>Zone5 の手指伸筋腱縫合術の術後は腱の治癒過程に準じてリハビリテーションを行い、良好な治療成績が得られていますが、可動域改善に難渋する場合があります。</p> <p>今回の研究では、Zone5 の手指伸筋腱断裂の可動域制限に影響する要因を、当院の電子カルテシステムより情報を収集して検討します。</p> <p>この内容には氏名・住所といった個人を特定できるような情報は含みません。</p>
実施の期間	2008年 1月 1日 より 2017年 12月 31日 まで
研究対象	上記の期間に、当院の整形外科にて Zone5 の手指伸筋腱断裂に対して腱縫合術を行い、リハビリテーションを行いました患者様を対象にします。術後 8 週間以上経過を観察できなかった患者様と、術後に感染症を起こしてしまわれた患者様は検討から除外いたします。